

令和3年度市長タウンミーティング～新しいまつりイベント開催に向けて（第2回）～ 意見交換の概要（令和3年10月26日実施分）

○開催日時 令和3年10月26日（火）19時～20時30分

○開催場所 藤井寺市役所3階305会議室

○前回のタウンミーティングの内容を受け検討いただいた結果・ご意見等

（参加者）

- ・新しいイベントを開催することは賛成であり、協力していきたい。コロナ禍で1万人規模を動員するイベントでいいのか等、本会の中でも協議しているところである。
- ・コロナ禍を考えると1カ所に集約するより市内の複数のエリアで分散開催がよいと思う。
- ・アクセス等を考慮すると会場は石川河川敷が有効ではないか。
- ・石川河川敷で大きなイベントを開催し、同日に小さなイベントを開催して参加者が色々と回れる感じにしてはどうか。
- ・実行委員会のリーダーについては負担が大きく、完全ボランティアではリーダーは集まりにくいのではないかという話が出た。
- ・市長が考える新しいイベントのイメージを各団体が練れば意見もまとまりやすいのでは。
- ・新しいイベントについて否定的な意見はなく、何らかの形でやっていった方がいいという話を聞いている。

○市長が考える新しいイベントのイメージについて

（岡田市長）

- ・新しいイベントについては、今後10年20年先も皆で市を盛り上げるものをやっていきたい。
- ・イベントは小さい子どもから高齢の方まで市民が楽しめるイベントが1日中どこかで開催されていて、そこに各種団体のPRや発表ができる場があるなど、色々な人が参加できるというイメージを持っている。
- ・アフターコロナの中では数万人規模の大規模で密になるイベントは難しいと感じている。
- ・台風や熱中症等の気候の影響や各団体の既存イベントの時期等を考慮すると、開催時期は11月の後半頃が良いのではと考えている。
- ・開催は密を避けた分散型会場のイメージで、会場は市役所、公共施設、企業、駅前周辺、商店街等のそれぞれの会場を線で結び、全体として面で開催するようなイメージ。
- ・第1回目は藤井寺の駅前周辺を会場に見立てた形で分散開催できればと考えており、将来的には藤井寺と道明寺でエリアを交互に変えて開催することも一案と考えている。

- ・今後、実行委員会組織を作り、市民、各団体、商店街、企業にも協力いただきたい。そのために、まずは今年中に各種団体、イベントに長けた方等を中心に準備委員会を立ち上げていただき、その中でどういう形で実行委員会を組織していくかを今年度中に揉んでいただいた上で、実行委員会に移していくというのがスムーズであろうと考えている。
- ・今の時代に合った新しいイベントを作っていくためには企画段階から女性の声や意見も取り入れていくことが必要と思うので、そういった方々にもお声がけしていただきたい。
- ・自分の経験からいくと、様々な問題が生じた場合も民間の実行委員会が主体となることで市民に理解をいただける場合もあり、上手く回るという感覚を持っているので、そこに市や職員も一緒になって協力し、各々得意分野を分け合いながら皆でやっていきたいと考えている。

○意見交換

(参加者)

- ・商店街も入れて実施した方が街全体でイベントを実施できるのではないかな。

(岡田市長)

- ・商店街も色々なお店に出店していただく活動をやっていただいているので、そういうものもできればと思っている。

(参加者)

- ・若年層や若者、若いクリエイターの意見やアイデアも盛り込んだ方が世代的にも盛り上がる。
- ・大和高田線の細いところに人が集中するのは少し危険に感じる。開催場所と導線を一緒に考えれば具体的な議論ができる。イベントのタイミングに合わせて期間を設け、当日に向けて小さなイベントを開催し盛り上がる雰囲気を作れば参加者も楽しめるのでは。

(岡田市長)

- ・ルートの件に関して大和高田線は多少避けた方がいい部分はある、そういう点も実行委員会の中で細部を議論していただいた方がよいと思う。小さいイベントは女性や子育て世代の方をイメージした雰囲気づくりや空間ができるようなイメージと思っている。

(参加者)

- ・会場を分散するのであれば、いきなりそのエリアでやっても市民に印象が浸透する前にイベントが終わってしまう所もあると思う。例えば最終日に大きな催しを設定し、導線上に3日間くらいの助走期間を設けて出店し、何かやっている感じを何日かかけて出していく雰囲気で寄せつつ、最終日を迎える仕掛けを作っても面白い感じが出ると思う。
- ・各団体でやっているイベントを一緒にするというのはどうか。

(岡田市長)

- ・各団体のイベントはコンセプトも違うので、いきなりは難しいと思う。

(参加者)

- ・緊急事態宣言で1番ネックなのが飲食である。実行委員会で8月・9月の状況を見ての判断になると、後手な判断になりかねない。実施についての判断をここできっちり決めた方が実行委員会も後々やりやすいと思う。
- ・女性の意見や若者の意見を取り入れるべきという声があったので実行委員会のメンバーを市民に公募してはどうか。やる気のあるリーダー・人材が出てくるかもしれない。イベントをするにはリーダーとコンセプトと予算が非常に重要である。

(岡田市長)

- ・自分のイメージでは実行委員会のメンバーは公募も含んでいる。それについても準備委員会の中で揉んでいただき、イベントが好きで盛り上げたいという方に是非メンバーとして参加していただきたいと思う。

(参加者)

- ・市民まつりは1カ所にまとまって物心ついた子供から大人まで皆が楽しめる場所で、各種団体がPRできる場所であったら1番良いと思う。分散開催は良いがコロナで人の流れや密集度も懸念される。

(岡田市長)

- ・その辺りのバランスは実行委員会の中で割り振りやレイアウトを上手く組んでいただきたい。

○今後の進め方について

(岡田市長)

- ・来月中もしくは年内のどこか早いタイミングで準備委員会を立ち上げていただきたいと思っている。準備委員会の中で今後の実行委員会をどういう形で立ち上げ運営していくかという所を揉んでいただくために、まずは準備委員会の組織をきちんと作っていくことが大切だと考えている。その中で規約やコロナ拡大時の対応、市民公募について議論をしていただきたい。その際にご協力をよろしくお願いしたい。

<終了>